

大田市

○授業の質の充実

大田市学力育成プロジェクト事業アドバイザー
(NPO法人)エデュ・ネットワークプラン 代表理事 齊藤一弥 氏

【学校訪問通覧指導】

3年間で市内小中学校、のべ52校へ訪問指導を行い、141名の教員が齊藤一弥氏から個別指導を受けた。

【授業づくり講座】（教材研究会&授業研究会）

3年間で30講座60回の研修会を実施、のべ2400名以上の教員が校種・教科を超えて参加した。

【大田市版学習指導案】

「本単元で育成する資質・能力」「見方・考え方を働かせている子どもの姿」「つながる主な資質・能力の系統」を明確にした大田市版学習指導案を活用した。

【おおだ教育講演会】

大田市内小中学校教員と齊藤一弥氏による座談会と講演会を行った。

テーマ：「大田市の授業づくり講座の充実」～能力ベースの授業づくりのプロセスの確立と方向性～（令和4年度）

「学び続ける教師」（令和5年度）

「単元を創る WHY WHAT HOW」（令和6年度）

【先進地視察・自主研修会（らとう会）】

主体的に学ぼうとする教員の輪を広げるため、先進地視察や自主研修会の活動を行った。

【学力育成に係る資料のデータベース作成】

学校と教育委員会の共有フォルダを作成し、「だれでも、いつでも、閲覧し活用できる」資料のデータベース化を進めた。



授業づくり講座



らとう会

○家庭学習の充実

【家庭学習の取組の見直し・協議】

◇好事例の共有

◇学力育成担当者会・研究主任者会の開催

【ICT活用の工夫】

◇ICT活用研修会での実技講習、実践発表

【「家庭学習力アンケート」の活用】

自分に合った方法を見つけて、自律的に家庭学習を行う生徒の育成

1. 「家庭学習力」アンケート実施

・家庭学習に大切な「8つの力」の自己評価⇒強みと弱みの把握⇒「学習の手立てから自分の取組を選択」⇒取組⇒振り返る

2. 家庭学習の工夫

・「必修課題」+「任意課題」
・任意課題は、実態に応じて自分で決めて取り組む
(ドリルパーク等の活用)

○地域に関わる学習の充実について

【学校の特色を生かした独自の取組】

◇豊かな体験を生かした探究的な学び

◇地域素材・コンテンツを活用

地層調査



○本物（専門家）に触れる豊かな体験

【外部機関と連携した本物に触れる体験】

◇島根県立三瓶自然館サヒメル

「学習プログラム（天文、地質、自然分野）」

◇国立松江工業高等専門学校

「出張授業（飛行機、ロケット、ロボット）、講座」

◇いわみプログラミング少年団

「プログラミング学習」

○「理科読」の推進

◇科学的探究心と言葉を育む

【理科読授業】

◇読み聞かせ、体験（観察・工作・実験）、関連本紹介

◇「空気の力」・「音」・「電気」・「水」・「乳」プログラム

◇連携機関(NPO法人)ガリレオ工房 土井美香子氏

工作実験



○学びの接続・系統性の重視

【幼小連携・接続】

◇大田市架け橋カリキュラムの作成

【小・中・高連携】

◇「探究的な学び」、「資質・能力ベースの授業づくり」で学びをつなぐ

3年間の取組の成果

・「資質・能力ベースの授業づくり」の理解が浸透した。

・授業と家庭学習をつなぐ工夫が見られた。

・教職員の授業改善への意識・意欲が高まった。

・子どもも教職員も当事者意識が醸成された。

つながりあって、学び続ける教職員集団へ